YOSHINAKA PRESS Vol.4

発行：【政治団体】明日の神奈川フォーラム HP ozawayoshinaka.com
〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪166 TEL 0465-35-0001 FAX 0465-35-4666

神奈川県議会議員 おざわ良央（よしなか） 誕生!!

県政ニュース1

平成27年神奈川県議選、小田原市選挙区（定数2）は、去る4月3日、無投票、という思いがけない形で結着を見ました。

4月15日　小田原市役所にて当選証書の受領
4月28日　横浜の神奈川県庁にて新人議員説明会
4月30日　初登庁、神奈川県庁舎の前で議員バッチ交付式

以後5月に入ってから、臨時議会、本会議等が順次開催され、本会議場での議席位置、正副議長の選任、常任委員会や特別委員会の割り振り等が決まって、新人議員としての活動が、いよいよ本格始動致しました。所属委員会は「文教常任委員会」に決まり、5月21日に初の質問（下記参照）を致しました。

小田原市民の期待を担って、41歳若い新人県議が誕生しました。

「人が活きてこそ、まちが輝く」、おざわ良央の政治信条です。人口減少、急激な少子高齢社会、地域経済の疲弊など、厳しい環境の中で、新鮮な視点と若い行動力で、諸課題の解決に挑戦するおざわ県議に、市民の期待が高まっています。

おざわ良央県議の所属は下記に決定しました

委員会等	文教常任委員会委員 予算委員会委員
審議会等	神奈川県自然環境保全審議会委員

文教常任委員会

県議会 初質問

箱根大涌谷の火山活動について

去る5月21日、県議会文教常任委員会が開催され、箱根大涌谷の火山活動についての報告がありました。地元議員としておざわ県議も、文教常任委員会の所管関係範囲から初質問をしました。以下その要旨を紹介します。

おざわ委員　箱根、小田原等、観光業を中心に影響が出ている。県教委関連の「生命の星・地球博物館」「足柄ふれあいの村」の利用状況は？

生涯学習課長　噴火警戒レベル2が発表された5月6日以降、博物館入場者数は、前年同月比1.5倍も増加した。県、町を挙げて、警戒地域が大涌谷周辺のみ、と限定したPRが功を奏したと思う。また同博物館が、箱根火山活動の学習施設でもあるので、この機会に来館されたのかとも思う。

子ども教育支援課長　『足柄ふれあいの村』は、前年比微増で影響ありません。

おざわ委員　麓の方は安全ということで悪い影響は無いようですが、小田原の駅前の観光業等は相当なダメージを被っています。県としての対応を望みます。

ところで箱根町立学校や近隣の県立高校は、現在通常授業されている訳ですが、今後仮に火口警戒情報が、レベル3に引き上げられるような事態となった時はどうなるのか？

教育局管理担当課長　2から3になると、避難指示エリアが半径1Km以内に拡大され、エリア内の住宅や施設の避難場所として、町立の学校が活用される可能性が大きくなります。当然授業等に影響が出ると考えます。

おざわ委員　万一の事態に備えて、適切な対応を期待します。また、正確な情報のもと、十分に児童や生徒の安全まで確保されていることを周知徹底していただきたい。

そして、箱根に今まで以上に沢山の皆さんが来て、楽しんでくれるようになることを期待して、質問を終わります。

身近な県政をめざして

新人、疾走る！

神奈川県議会議員
おざわ良央（よしなか）

県政ニュース2

待たれる終息宣言

箱根、大涌谷の火山活動

箱根山の大涌谷で起きた活発な火山活動は、箱根町はもとより周辺市町にさまざまな影響を与えています。

新人県議のおざわ良央も、早速５月７日、県立温泉地学研究所（市内入生田）を訪れ、現況や今後の活動予測等について情報交換しました。続いての大涌谷周辺の現地調査では、噴気音の高まりを確認、周辺観光関係者や住民の皆さんとも意見交換し、実態把握に努めました。

その後、去る6月17日、箱根火山防災協議会が小田原市で開かれ、大涌谷周辺の火山活動への対策が話し合われました。国や県機関は一定の活動低下を報告、しかし、噴火警戒レベルの引き下げには、慎重な姿勢を示しました。

いづれにしても、終息宣言に至るには多少時間がかかりそうという中で、夏休みやゴールデンシーズンを控えて、箱根や近隣市町の経済的にも厳しい現況への対策や、万一の事態に備えての対応を含めて、おざわ県議も真剣に活動中です。

山王川・久野川

一斉清掃

去る６月6日、山王川、久野川で毎年恒例の一斉清掃が実施され、流域住民等 1,200人ほどが参加。井細田八幡神社でのセレモニーから、草むしり、ゴミ拾いまで、おざわ県議も住民の皆さんと一刻、共に汗を流し、環境美化活動の大切さを肌で感じました。

小田原市水防訓練

台風や集中豪雨から住民や地域を守るための水防訓練が、去る５月24日酒匂川河川敷にて、小田原市消防本部と消防団の主催で開催。流域の三町消防団や地域住民等の参加で、今年も実際的で有意義な訓練が行なわれました。来賓として視察したおざわ県議も、消防団の皆さんの勇姿に感動し、あらためて感謝の思いで一杯でした。

酒匂川スポーツ広場

市トイレ改修計画

放火被害により、仮設トイレのままで不便な思いをしているスポーツ関係者から、トイレ改修の話を受け、おざわ県議は、早速現地確認の上、県小田原土木センターを訪問しました。二級河川の酒匂川は、県が国から管理委託を受けて、河川敷や堤防内工作物の許認可権限を持つからです。幸いにも、県当局のご理解もあり、スポーツ団体のトイレ改修要請に、市当局が早期に計画を進めることが期待されます。

ラグビーW杯2019

全日本チーム合宿の小田原誘致

神奈川県と小田原市、日本ラグビーフットボール協会の三者は2019年９月のラグビーワールドカップ（W杯）日本大会に向け、小田原市の城山陸上競技場を日本代表チームの合宿地の一つとする基本合意書を６月３日締結しました。今後、小田原市は県と協調し、競技場の管理棟改修や芝生の張り替え等を行うと共に、地元あげての受け入れ準備を推進することになりました。

おざわ県議も、早い段階から市内外の関係者等と連繋し、この計画の実現に努力してきましたが、これを機会に日本代表チーム合宿の成功とラグビー競技の市内での一層の普及のために力を尽くしてまいります。

「総決起大会」。
超満員の熱気に包まれた会場。

「選対代表者会議」

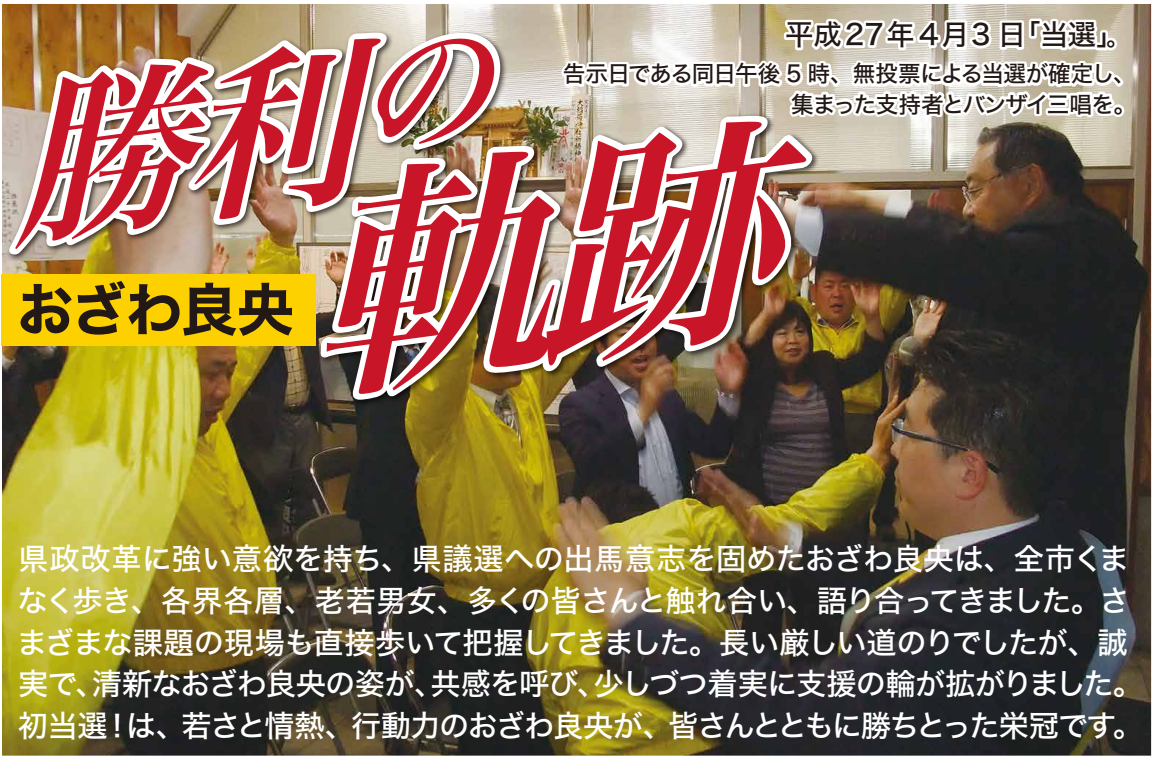
「青年選対会議」

「事務所開き神事」

「さあ、あと 1 年のつどい」を開催。
大勢の来場者の励ましを受ける。

勝利の軌跡

おざわ良央



平成27年4月3日「当選」。
告示日である同日午後 5 時、無投票による当選が確定し、集まった支持者とバンザイ三唱を。

県政改革に強い意欲を持ち、県議選への出馬意志を固めたおざわ良央は、全市くまなく歩き、各界各層、老若男女、多くの皆さんと触れ合い、語り合ってきました。さまざまな課題の現場も直接歩いて把握してきました。長い厳しい道のりでしたが、誠実で、清新なおざわ良央の姿が、共感を呼び、少しづつ着実に支援の輪が拡がりました。初当選！は、若さと情熱、行動力のおざわ良央が、皆さんとともに勝ちとった栄冠です。

「総決起大会」。
エールを受けて元気いっぱいに登場するおざわ良央。

平成27年4月3日「当選」。
当選の報をうけ、だるまを開眼。

「報告会」。
支持者の皆様に当選の報告。

「出陣式」。
桜花らんまんで迎えた告示日、華やかに出発！